

R.I.District 2670 高松南ロータリークラブ

9月号



Monthly Report

ホームページ <http://www.takamatsu-south-rc.com/>

2024 - 2025



ロータリーのマジック RI会長：ステファニーA. アーチック

2024-2025年度クラブテーマ「全会員がそれぞれの奉仕をかたちにしよう」
活動に参加しない（ゼロ活動）人をゼロにする【ゼロゼロ運動】

会長：多田耕三 幹事：松木リカ

例会場/JRホテルクレメント高松3階「玉藻の間」 毎週水曜日 12:30~13:30



2024-25年度

7月31日 第4回例会

客話「子育て県かがわ」をつくる 青野美保課長補佐

日時/令和6年7月31日(水)12:30~13:30

場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 多田 耕三

今日は、最近よく耳にする「オープンAI」について、皆さんにわかりやすい言葉でご説明できればと思います。AIの中でも、ChatGPT 4 omni（チャットジーピーティオムニ）についてお伝えします。まずは、以前より進化したことは、テキスト（文章）はテキストのAI、画像は画像のAIがそれぞれ別で動いていたのが、マルチモーダル化（全方位化）して、テキスト・画像・音声・（動画はまだ搭載されていない）が同時に行えるAIになったということです。では、それによってどうなったかという、①人間らしい会話をするようになりました。②同時通訳がリアルタイムにスムーズになりました（英会話勉強に最適）③議事録（書記）に加え、要約して会議内容について意見を求める的確なアイデアなど出してくれるようになりました。まるで、メンバーの一員のような存在になりました。

しかし、問題点もあります。それは安全性です。AIはありとあらゆる情報をデータベースにしているため、著作権侵害による訴訟問題を抱えています。特に動画生成AIに関しては、フェイクニュースなどまるで本人であるかのような動画が簡単に作成できてしまいます。

その反面、映画製作などクリエイティブ業界にとっては、革命ききな素晴らしい技術になります。AIがもたらすものは、すべての人間の頭の良さに差がなくなります。だからこそAIに依存するのではなく使う側のわれわれ人間がスキルを身につけAIを上手く使う訓練が必要だと思います。今後もAIは私たちの生活の中で切っても切れない存在になります。AIはよく分からないという理由で使わないのではなく、まずは使ってみて一つからでも仕事や経営、生活に利用していくと、その延長上に光がみえてくると思います。

まずは、体感してみてください。

客話

香川県子ども政策推進局 子ども家庭課母子保健グループ 課長補佐 青野美保 様

「子育て県かがわ」をつくる～母子保健の現状と取組み～



香川県の昨年の出生数は5,365人で、20年前と比べて約4,000人減少しています。第1子を産んだ母親の平均年齢は、令和4年香川県30.2歳（全国30.9歳）と上昇傾向です。晩産化は、加齢に伴う卵子の老化で流産が増えるとともに、

合併症による母体や胎児死亡の原因となりうるリスクが高まります。不妊治療は夫婦全体の約4.4組に1組が受けたことがあり、また、体外受精により誕生した子どもは約11.6人に1人の割合であるとの全国データがあります。香川県では、若い世代に正しい知識の普及啓発を行い、気づかれにくい不妊のリスクをなくすために、ライフデザイン講座を高校や大学、企業の新人研修等に出向いて実施しています。昨年度に、香川県の高校3年生男女に『将来、子どもを持ちたいか?』と尋ねた調査では、「持ちたい」「どちらかといえば持ちたい」と答えた生徒が70.6%でした。このような若い世代の夢を叶える「子育て県かがわ」の実現に向けた取組みに、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いします。

ニコニコ箱

岡(隆)会員「田中弘之さん、いつも米山へのご配慮ありがとうございます!」

篠田会員「結婚記念日の花束ありがとうございました。結婚48年になりました。」

計¥14,000 合計¥62,000

会員掲示板

- メイクアップ/10名
- ビジター/0名

ロータリーソング「四つのテスト」
ソングリーダー「三木会員」

2024-25年度

8月7日 第5回例会

夏季RAC親睦会

日時/令和6年8月7日(水)18:30~20:30

場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 多田 耕三

本日は、RI会長や地区ガバナーも今年のテーマにもしている、ロータアクトとの関わりを深めていくことを重視して、急遽、香川大学ロータアクトとの親睦会としました。

残念ながら、夏休み期間ということで香川大学RACからは2名の参加になりましたが、香川大学RACがどのような目的で一年間活動を計画しているのかをRACから直接説明を聞いていただき、我が高松南RCの会員の皆様もまだまだRACについて知らないことが多いと思いますので、この機会にお互いに質疑をシェアして、互いにもっと知る時間になればと思います。今まではRACに対して運営費の一部を寄付して終わっていましたが、これからは、香川大学RACが独立できるようにお金以外の支援をする高松南RCに変化していかなければいけないと考えます。そしていずれは、本当に同等の存在になるように香川大学RACを育てていきたいと思っておりますので、皆様よろしく

お願いします。

夏季RAC親睦会報告 親睦活動委員会 濱川義弘 委員長

今年の夏季例会は、ローターアクトとの交流を中心に企画しました。夏休み中の開催ということで、2名の参加になりましたが、今後に向けて新しいスタートが切れればと考えています。

まず、会長の高木さんと幹事の松本さん、夏休み中にも関わらず参加頂き、有難うございます。

では、香川大学ローターアクトクラブについて、初めにご紹介いたします。クラブは毎月第1、第3木曜日に例会を開催しています。(月2回) 現在、クラブ生は82名(四年生：3名、三年生：13名、二年生：22名、一年生：44名)です。

運営方針として、3点掲げています。

まず1点目は「奉仕活動の推進・地域とのつながりの強化」です。香川県内の祭り・清掃・社会貢献ボランティアに参加し地域との繋がりをより強いものにしていく。

2点目としては、「会員の能力の底上げ」です。会長・幹事・会計・広報など9つの役職を設けています。イベント毎に委員会を組織し、短い期間で再編成することで、全体の能力の底上げを目指します。

3点目は「アクト同士の交流」です。地区外も含むアクト同士での交流を増やし、行事での連携・幅の広い広報活動が行えるようにします。

以上がクラブの概要となります。

では、ここからRACのことを語っていききたいと思います。

RAC生の出身地ですが、第1位：香川県、第2位：岡山県、第3位：愛媛の順番となっています。地元香川県がやはり、多いですね。

続きまして、就職希望先は香川県内10%、香川県外90%となっています。地元で就職というより、県外で働きたい人が圧倒的に多いですね…。

では、RACから高松南RCへの質問に移ります。

- ①皆さん、どんなお仕事をされていますか？
- ②学生時代、どのような学生でしたか？(ガクチカ)
- ③どのようなローターアクトを求めていますか？

など、大人のロータリアンから、たくさんのアドバイスを頂くことが出来ました。

最後に、RAC会長の高木響さんから、ロータリーの皆様に感謝しながら、各行事への参加や奉仕活動など日々の活動に励んでいき、人数が多いだけのクラブにならないよう、全員で一丸となって年度末に控える地区大会をはじめ、多くの活動を成功させるように頑張っていきます。1年間、よろしくお話ししますと、心強いお話しがありました。

ロータリー、RACのお互いのことを知り、今後さらに関係を深く構築できるクラブでありたいと感じた、夏の例会でした。



濱川親睦委員長
香川大学RAC 高木会長、鈴木幹事

ココココ箱

多田会長「今日は香川RACの高木会長、鈴木さん、ご参加ありがとうございました。これからも交流を深めていきましょう。」

宮本会員「香川RACのお二人に参加していただきありがとうございました。親睦委員会の皆様ありがとうございます。」

ソバハニ会員「ロータリーアクトクラブの皆様、私の家(庵治にあります)に遊びに来てください。おかげさまで」

篠田会員「76歳になりました。暴走老人にならないように心がけます。」

計¥14,000 合計¥76,000

会員掲示板

- メイクアップ/8名
- ビクター/0名

ロータリーソング
「国歌、ロータリー四季のうた、パステーションソング」
ソングリーダー「平井会員」

2024-25年度

8月21日 第6回例会

客話「就労継続支援事業所の水耕栽培」
(株)フォースター会長森秀貴氏、社長香西芳輝氏

日時/令和6年8月21日(水) 12:30~13:30

場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 多田 耕三

2014年のNHKの「プロフェッショナル～仕事の流儀～」にアイリスオオヤマの大山社長が出演していた番組が記憶に残っていることをお話ししたいと思います。

記憶に残ったのは「知ってる事と出来る事は違う」という話です。

日本では会議、会議、そして会議で1日が終わり「今日はどんな仕事をした？」と聞くと「1日会議だった」なんて事ありますよね？しかし会議は仕事の手段の一つで目的ではありません。煮詰まった時にアイデアを引き出すため、大きな決断を下すため、プロジェクトを開始するためなど、様々な用途にあわせた会議があります。また会議が得意な人とそうでない人、いつも発言をする人とそうでない人、和を乱す人や常に歩調をあわせる人など、良くある会議です。

会社全体の経験や知識が浅い時には、「知識を持った雄弁な話者」を無条件にリスペクトしてしまいがちです。自分達が知らない事を知っている人は常に凄い人に見えますよね。「なんかこの人すごい事言ってるぞ。しかも自信を持って自分にはできると言ってるし。さぞ仕事ができるに違いない。よし、お願いしよう！」みたいな流れです。まだ結果が出ていないのに、どんどん重責を与えていく。雄弁な人はごまかすのも得意で、仕事をしてない、できていない時でも上手く切り抜けてしまいます。半年経って「これは何か怪しいぞ」と思い、一つ一つの仕事を事細かに見ていくと、全く仕事をしていなかったという衝撃の事実！これぞ「知ってる事と出来る事は違う！」という事です。

SNSの走りだったmixiだって、今や知らない人はいないfacebookだって、アイデアをマネして生まれたサービスです。違いは一つだけです。そのアイデアを実行したか、いつまでも話だけをしているか。

アイリスでは毎週月曜の会議で各開発チームが新商品のプレゼンを経営陣前に行うのですが、そこで直接社長がフィードバックを出し、売れると判断したら社長自らGOサインをだします。ただ、社長はすごく厳しく新商品を見ていくので、合格

するまでは中々厳しい壁があるようです。それでも次から次へと新商品の提案が社内から来て、なんと同社の売上に占める新商品の割合は半分だそうです。アイリスの商品にはちょっとひねった家電が多いですね。よくある「そうそう、その機能あるといいよね」みたいなやつです。これも恐らく競合が「自分達だってこれ位考えていたよ」と思うでしょうが、なにせアイデアが来て商品化するまでのスピードが半端ないのと、責任を社長が取るというスタンスなので、現場は猛スピードで進められます。商品開発に携わっている方はどんどん商品を開発したい。ただ大企業だとステークホルダーが多く根回しが大変。そして「もしこの商品が売れなかったらどうするんだ？」これだとアイデアがあっても怖くて慎重になってしまいますよね。この弊害を取り払ったのがアイリスの開発方法です。

会議でどれ程雄弁に語っても、手を動かして仕事をしていない人は一切評価しません。むしろ物静かでも着々と仕事をこなしてくる人や、次から次にアイデアを出しては実行する人を評価します。行動する、実行する。これは仕事の基本中の基本です。

そして組織のトップとして自分が心がけているのは、その後押しをしてあげる事です。問いかけて受けたら答える。決断は引き延ばしにせずその場で下す。言いたくないフィードバックも出す。もちろん誤った決断を下す事もあり、訂正もしますが、決断を先伸ばしにせず、その時その時で最善と思った選択肢を選ぶ。間違っても早い段階でそれに気が付き軌道修正すれば、ほとんどの問題はカバーできます。自分の判断を待っている人々の時間を無駄にする訳にはいきません。またスピードが求められている今のビジネスにおいて、トップはとにかくすぐ判断をし、現場はそれ以上のスピードで実行する。多少は粗があっても走り続ける方が、熟考し徹底的に戦略を練り、石橋をたたいて渡るよりは成功する確率が高いと思います。机上の論理で事が運ぶ事は少なく、予期せぬ事が起こるので、考えがある程度まとまったら先ずは行動あるのみ。甘えてしまう自分に鞭を打って前進していきます。知ってる事と出来る事は違う。いくら知っていてもできなければ何の意味もない。最後まであきらめずにやり切ることが一番大事である。ロータリーのことも知っていることとできることは違うと思いますので、一つからでも奉仕に参加していただけるよう参加を募っていきます。

客 話

「共に育ち彩りのある人生を」

～就労継続支援B型事業所開所と障がい者雇用の現状～

株式会社フォースター 代表取締役社長 **香西芳輝** 様

はじめに

障がい者の方が今の世の中を生きていくためには、社会としてより良い職場環境や居場所づくりをしていくことが重要ではあるが、現状としてとても厳しいことを知った。そこで自分たちができることがないか模索していた。



客話 森秀貴様 香西芳輝様

障がい者を取り巻く環境

・障がい者の方が年々増加している中で、それぞれの能力に合わせて働ける環境が必要になっているが、根強い偏見があったり、サポートが十分でない。

- ・障がい者手帳をお持ちの方で働ける方415万に対して、一般就労者は56万人と全体の約13%である。
- ・障がい者就労支援事業所で働く方は34万人と一般就労者と合わせても約21%しかない。
- ・国の施策として障害者雇用促進法があり、段階的に障がいの方の雇用率を上げている。

障がい者の働く環境の改善を目指す対策

- ・障がい者が働くきっかけとなる一番土台となる就労継続支援B型事業所の立ち上げ。
- ・就労継続支援B型事業所を通して障がいの方の能力、知識、習慣の向上を目指し、一般就労を目指しステップアップできる環境を整え、一般就労に繋げるために各企業との情報共有の実施。

今後の課題

- ・一般就労に繋げるために企業の方との交流を持ち、障がい者の理解、障がい者雇用の理解を深めていく。
- ・障害者雇用促進法を打ち出しても全国で半数以上の起業が障がい者雇用率は未達となっている。

ニコニコ箱

岡林会員「72歳になりました。ヘルニアを早く治してゴルフに復帰します。」
松木幹事「森会長、香西社長、お話ありがとうございました。」
計¥6,000 合計¥82,000

会員掲示板

- メイクアップ/7名
- ビジター/0名

ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー「三木会員」

2024-25年度

8月28日 第7回例会

日時/令和6年8月28日(水)12:30~13:30
場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 多田 耕三

本日は、各テーブルに分かれての委員会ミーティングとなっております。

それぞれどのような内容の委員会なのかをよく知っていただき、すべきことがわかれば今回のミーティングの目的は達成されます。ぜひ、この場を有意義に使っていただきたいのでよろしく願います。そこで、一つ議題のテーマにしてほしいことがあります。

ロータリーの友8月号の中の新しいスタイルのヒントという記事にヒント1~5をコピーして皆様にお配りしています。全国のロータリークラブも会員が激減したり、新規会員が入会しにくい、アナログのやり方によって事務作業が大変であるなど、改善点を多く抱えています。我がクラブも少なくとも改善点はいくつかあります。

記事の中のヒント3の多様な会員種別を設けるという中に、家族会員を設け、現会員のご家族の入会は会費を半額にするなど、参考になると感じました。シニア会員についても同様です。最後にヒント5のITを活用してコミュニケーションを円滑にという記事についてですが、自分たちでアプリを作り、スマホで出欠確認・会員名簿ができるようにして、91歳のベテラン会員から「スマホを見るだけで写真や経歴が一目で確認できる

ので、お互いに理解し、親しくなるのに時間がかからない」と非常に楽しんで取り組んでいるとのことでした。

とてもいいと思いました。東京芝RCの取組みですので、一度メーカーキャップしてそのアプリを見せていただこうと考えています。近い将来我がクラブにも導入できるようにしたいと思います。各テーブルで、よりよいアイデアができれば、私や松木幹事へご意見いただければ嬉しいです。本日もよろしくお願いたします。

ニコニコ箱

計¥0 合計¥82,000

会員掲示板

- メイクアップ/12名
- ピジター/0名

ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー「三木会員」

2024年9月 基本的教育と識字率の向上月間、ロータリーの友月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	備考
8	4	12:30~	JRホテルクレメント高松	客話「子ども虐待防止の取り組み」 日本子ども虐待防止学会かがわ大会 実行委員 橋本美香氏	
9	11	12:30~	JRホテルクレメント高松	客話「映像によるブランディングへの挑戦」 (株)G-Works 吉川賢司氏	9/14 地区クラブ活性化セミナー
				定例理事役員会	13:30~14:00
10	18	12:30~	JRホテルクレメント高松	第4回クラブ協議会 住谷ガバナー補佐公式訪問	
	25			休会（定款第7条による）	

編集後記

古代から、日本人は、言葉には霊力が宿り、発した言葉を現実にしてしまうと信じてきました。万葉集にも「磯城島（しきしま）の日本（やまと）の国は言霊の幸（さきは）ふ国ぞま幸（さき）くありこそ」とよまれています。古来より言葉に人を動かす力があると信じられてきたのは確かです。言葉は少なからず私たちの意識に働きかけます。

言葉がきっかけで、意識が上向くときもあれば、その反対もあります。魔法使いの呪文なども言霊の一種といえるでしょう。古今東西、言葉には不思議な力があると考えられていたのがわかります。しかし、発した言葉が本当にそのまま現実になるとは限りません。しかしながら、現代日本でも、言霊の考えは日常生活に溶け込んでいます。「いたいいたいのとんでいけ」などの言葉も、ある種の言霊信仰です。言葉の力を利用した、まじないの一種です。「祝詞（のりと）」「忌み言葉」「呪詛（じゆそ）」「言挙げ（ことあげ）」も、言葉に霊力がある

という考え方に根付くものでしょう。

そして、その言葉を記録する手段として文字で書き残す。かつて、その書き残す紙は高価な貴重品で文房四宝（紙・筆・墨・硯）と呼ばれていました。ときはうつり今やペーパーレスの時代と喧騒されています。この文字の読み書きができない人の割合が文盲率で、読めるのが識字率です。全世界の識字率は80%弱と言われていますが、格差が大きく、サハラ以南のアフリカ最貧5か国では50%を下回る報告があります。9月のロータリーは基本的教育と識字率向上月間です。

2024-2025年度がはじまって2か月目の報告号です。無償の世界に、夢と情熱を併せ持つ奉仕のところがいっぱい詰まったロータリアンの集いの中に、一人ひとりが役割をもつ。だけどその集いの主役はロータリアンのみんなです。まさに、「ひとり一役、みんなが主役」です。そんな有意義な集いをお知らせするようがんばっている会報です。ご高覧ください。（編集子）